

2026年1月5日

イオンモール株式会社

ハピネスモールをいっしょに。

**第5回全国高等学校 書道パフォーマンスグランプリ
決勝大会 in イオンモール幕張新都心 開催**

イオンモール株式会社（以下、「当社」）は、『第5回全国高等学校 書道パフォーマンスグランプリ』（以下、「本大会」）の決勝大会を開催します。

本大会は、書道を通じた新たな文化の創造と発展、文化芸術における地域間交流を促進することを目的に、2015年に中四国エリアで初開催し、2021年より全国へと拡大しました。書道パフォーマンスの全国的認知度の高まりから、年々参加校も増え（第1回：74校、第2回：93校、第3回：97校、第4回：104校）、第5回となる本大会は31都府県から107校の応募があり、書道パフォーマンス大会としては最大規模となりました。決勝大会には各エリア大会を勝ち抜いた代表校14校が出場し、2025年度の日本一を目指して競います。

■『第5回全国高等学校 書道パフォーマンスグランプリ決勝大会』開催概要

- ・日 時：2026年1月11日（日）10:05～18:00
10:05～ 開式
10:15～16:30 パフォーマンス
17:30～18:00 表彰式
- ・場 所：イオンモール幕張新都心 1Fグランドコート
- ・参加校：仙台育英学園高校（宮城県）本庄東高校（埼玉県）水戸葵陵高校（茨城県）
滑川総合高校（埼玉県）上田西高校（長野県）開建高校（京都府）上宮高校（大阪府）
伊川谷北高校（兵庫県）鳥取城北高校（鳥取県）神辺旭高校（広島県）尾道高校（広島県）
高松商業高校（香川県）新居浜西高校（愛媛県）鹿児島実業高校（鹿児島県）



【昨年の決勝大会優勝「本庄東高校」のパフォーマンス】

「高等学校書道パフォーマンスグランプリ」について

- ・愛媛県の高校の文化祭やイベントで始まった音楽に合わせて大きな紙に揮毫するパフォーマンスがきっかけとなり、全国各地に広まった「書道パフォーマンス」。その魅力をより多くの方々に知っていただくことを目的に、2015年より中四国大会がスタート。縦4m×横6mの大判用紙に、7分の持ち時間内で力強くパフォーマンスします。
- ・大会HP：<https://syudou-p.jp/>
- ・2015年中四国エリア大会から本大会までに、累計687校、約9100人の高校生が参加しています。

＜決勝大会出場校のご紹介＞



仙台育英学園高等学校
(東北北海道大会代表)
決勝大会 5回出場
大会優勝 3回受賞
大会準優勝 1回受賞



本庄東高等学校
(関東大会代表)
決勝大会 4回出場
大会優勝 1回受賞
大会準優勝 1回受賞



水戸葵陵高等学校
(関東大会代表)
決勝大会 3回出場
大会準優勝 2回受賞



滑川総合高等学校
(関東大会代表)
決勝大会 2回出場



上田西高等学校
(東海大会代表)
決勝大会 3回出場



開建高等学校
(東近畿北陸大会代表)
決勝大会 5回出場



上宮高等学校
(中近畿大会代表)
決勝大会 5回出場



伊川谷北高等学校
(西近畿大会代表)
決勝大会 4回出場
大会第3位 2回受賞



鳥取城北高等学校
(東中国大会代表)
決勝大会 4回出場



神辺旭高等学校
(西中国大会代表)
決勝大会 4回出場



尾道高等学校
(西中国大会代表)
決勝大会 初出場



高松商業高等学校
(東四国大会代表)
決勝大会 2回出場



新居浜西高等学校
(西四国大会代表)
決勝大会 2回出場



鹿児島実業高等学校
(九州沖縄大会代表)
決勝大会 初出場

【協賛・後援について】

- ・特別協賛：大塚製薬株式会社
- ・協 賛：株式会社呉竹、全国書道用品生産連盟、萩原工業株式会社、イオンコンパス株式会社、ノートルダム清心女子大学、愛媛県書道用紙連合会、他
- ・後 援：文部科学省、全国高等学校長協会、全国都道府県教育委員会連合会、(公社)全国高等学校文化連盟、全日本高等学校書道教育研究会、書道パフォーマンス甲子園実行委員会、千葉県教育委員会、他

当社は、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”に向けて、全社を挙げて取り組んでいます。今回の取組が該当する開発目標は、下記の通りです。

